

第1回 摂津市地球温暖化対策地域計画推進協議会 議事要旨

日時：令和5年2月21日（火）14:00～16:00

場所：摂津市役所本館3階301会議室

■ 出席者

- (1) 委員
- | | |
|--------|--|
| 尾崎 平 | (関西大学環境都市工学部都市システム工学科教授) |
| 北川 照子 | (特定非営利活動法人摂津市人材サポート・ビューロー代表理事) |
| 島内 嘉紀 | (摂津市商工会事務局長) |
| 鳥越 喜雄 | (関西電力送配電(株)大阪支社北摂地域統括長) |
| 沖野 豊美 | (大阪府地球温暖化防止活動推進員) |
| 岩井田 武志 | (大阪府環境農林水産部脱炭素・エネルギー政策課気候変動緩和・適応策推進グループ課長補佐) |
- (2) 事務局
- | | |
|--------|------------------|
| 吉田 量治 | (摂津市生活環境部長) |
| 菰原 知宏 | (摂津市生活環境部環境政策課長) |
| 堀邊 太志 | (摂津市生活環境部環境政策課) |
| 中島 公平 | (摂津市生活環境部環境政策課) |
| 小林 瑠璃子 | (摂津市生活環境部環境政策課) |

(以上、敬称略)

■ 内容

1. はじめに
2. 会長、副会長の選任
3. 審議事項
令和3年度振り返りについて
4. 報告事項
令和4年度の取組について
5. その他

■ 配付資料

- 【資料1】 協議会委員名簿
- 【資料2】 摂津市地球温暖化対策地域計画推進協議会規則
- 【資料3】 令和3年度進捗管理表
- 【資料4】 令和4年度の取組
- 【参考資料】
 - ・未来守る！エネルギー日記
 - ・太陽光発電及び蓄電池システムの共同購入支援事業チラシ

- ・令和5年度当初予算編成説明会資料
- ・せつつ・エコオフィス推進プログラム5(案)

1. はじめに

- 事務局より配布資料の確認。
- 吉田部長より開催の挨拶。
- 委員自己紹介。

2. 会長・副会長の選任について

- 協議会規則にもとづき、尾崎委員を会長に、北川委員を副会長に選任。

3. 審議事項

令和3年度振り返りについて

- 事務局より【資料3】に基づき説明。

委 員 : 現在の廃食油の回収拠点は、市役所、環境センター、各公民館、別府コミュニティセンターだが、鳥飼地域の住民の方からしたら、どこも遠い。また、環境センターのどこに廃食油回収ボックスがあるか分かりにくい。そして、コミュニティプラザに設置されていないのが、難点である。設置場所の問題等あると思うが、コミュニティプラザの利用者は多いので、廃食油の回収率を上げるためには、設置する必要がある。

委 員 : 回収された廃食油は、石鹼になっているらしいが、エネルギー日記に取り組んだ方に送付されている報告書に、廃食油や石鹼の事を記載してほしい。

事 務 局 : コミュニティプラザには何度か廃食油回収ボックス設置の依頼を行っており、施設の安全面等から、設置が難しいとの回答だが、頂いた意見をもとに、施設の管理者に要望をしていきたい。今後、廃食油や石鹼の事については、報告書に記載していきたい。

委 員 : エコポイントを集めると、記念品は何がもらえるのか。

事 務 局 : 最大40ポイントでクオカード2千円分がもらえる。

委 員 : 19歳以下を含む世帯が全体の25%に留まっている。こどものうちから、取り組んでもらえたらと思う。

事 務 局 : 小学4年生時には、環境センターの見学があるため、その後のステップアップとして、市内の小学5年生を対象に、エネルギー日記のこども版である、こどもエコノートを配布している。以降はエネルギー日記に移行してほしいと考えている。

- 委員：こどもエコノートの対象を5年生だけに限らず、もっと低学年や全学年に拡大できないか。低学年の方が、保護者を巻き込む事が出来る。
- 事務局：他の学年に拡大となると、学校との調整も必要になってくる。他課の話であるが、環境業務課の方でも環境教育を行っており、各学校で絵画展を実施しており、環境教育や啓発は、低学年でも行っているのので、施策の中で、総合的に判断していきたい。
- 委員：エネルギー日記のようなポイント制度の参加件数を増やす手法としては、知人が参加すると、ポイントを付与するという方法もある。また、エネルギー日記の取り組み期間が、なぜ6月から11月なのか。
- 事務局：取り組み前の各公共施設での説明会の日程の関係と、取り組み後の結果をまとめ、報告書にして、クオカードを配布するので、このようなスケジュールになっている。
- 委員：冬は暖房にかかるエネルギー消費が多いので、その期間が含まれていないのは、気になる。
- 事務局：取り組み期間については、可能な範囲で、変更できるか検討したい。
- 委員：このような家計簿の取り組みは、他市などは、辞めている事が多いと聞いている。
- 委員：内容等は更新されているか。また、再生可能エネルギー比率の高い電気を選択している場合の排出係数は小さいが、その反映は、されているか。
- 事務局：内容等については、昨年度までの環境家計簿を未来守るエネルギー日記という形で大幅にリニューアルした。排出係数については、関西電力が公表しているものを使用している。
- 委員：太陽光・蓄電池共同購入支援事業の、登録件数は増えているか。
- 事務局：令和2年度は9件だったが、令和3年度は53件に増えている。
- 委員：この事業は、太陽光パネルの設置を行政が要請しているのか。
- 委員：太陽光パネルが設置されると、CO₂削減につながるのので、行政はPRを行っている。個々で設置しようとする、業者とのトラブルで、二の足を踏まれる事もあるが、この事業では、信頼できる業者をピックアップして紹介している。また、多くの方が参加されることで、スケールメリットを活用し、安く購入することが出来る。
- 委員：参加登録は増えているが、9割程は契約締結に至らなかったのは、どのような原因が考えられるのか。
- 委員：屋根の広さの問題や、雨漏りや廃棄の際の問題もあるので、メリットとデメリットを比較して、設置する、しないを個々で判断しているのではないか。

4. 報告事項

令和4年度の取組について

○事務局より【資料4】に基づき説明。

- 委員：これから茨木市とのごみ処理の広域化が行われ、ごみ分別の種類が現在より、少なくなるようだが、そうすると環境に対する市民意識が下がる心配がある。
- 委員：ごみ処理の広域化がスタートしても、CO₂排出量を算定するために、摂津市のごみの排出量を把握することは可能か。
- 委員：ごみ収集のパッカー車の重量をごみ搬入時と排出時と比較するので、それは把握できる。また、資料4の再生可能エネルギー等の補助制度について、共同購入支援事業と併用は可能か。
- 事務局：併用は可能である。
- 委員：以前は、FIT制度の売電価格が高く、太陽光パネルが人気だった為、現在は、太陽光パネルより蓄電池の方が普及率は低い。よって、太陽光パネルより、蓄電池の補助額が大きい方が良かった気もするし、セットで導入すると補助額を大きくする方法もあったのでは無いかと思う。
- 事務局：FIT制度の終了が近づいている中、今後は自家消費する為、蓄電池の必要性を感じているが、補助金制度については、条件を付けずに、広く様子を見ていきたい。

5. その他

- 事務局：次回の協議会は令和4年度の振り返り評価と新年度の予算編成に向けての協議にしたいと考えているので、今年の夏頃を開催予定にしている。

[了]